Professional Security Services

安全なAI活用を全社に広げるための「AIセキュリティガバナンス」

AI利用における、次のような課題を解決します

1. 従業員が自己判断で生成AIを利用しており、意図せず情報を漏えいさせていないか心配である
2. 組織として、生成AI利用をどのように管理していくべきか分からない
3. AI利用に関するルールがなく、またどのようにルールを作ればよいかわからない
4. AI利用に関するルールはあるが、周知や教育が不十分と感じている
5. 現場の実態を継続的にモニタリングする仕組みがなく、ルール通り実施されているか把握できていない

なぜ「AIセキュリティガバナンス」が必要か

AIがもたらす価値

- ✓ 生産性・業務スピードの向上
- ✓ 競争力強化、新たな価値・ビジネス創出

備えるべきリスク

- ✓ 情報漏えい、誤情報・ハルシネーション
- ✓ 著作権侵害、バイアス、不正利用

AI利用を禁止するのではなく「何を・どこまで・どう使えるか」を明確化

支援の全体像



利用状況の可視化・課題整理
導入・利用実態、体制、リスク管理状況を調査し、基準との差分を分析

- ✓ 現状・GAP分析
- ✓ 課題整理



ガバナンスの確立
既存規程と実運用をふまえ、方針・ガイドラインを策定

- ✓ 基本方針
- ✓ 利用ガイドライン



教育・定着
策定ルール、業界動向などに基づく教育、ハンドブックで現場に定着

- ✓ 教育コンテンツ
- ✓ 活用ハンドブック



運用モニタリング
セルフチェックで各部門のリスク・課題を抽出し、対応方針を整理

- ✓ チェックシート
- ✓ 対応方針

データ保護、モデル保護、利用統制、監視対応を中心としたガバナンス構築を支援

© 2026 Fujitsu Limited

策定する主要文書

AIセキュリティ基本方針	管理者向け利用ガイドライン	利用者向け利用ガイドライン
価値提供、公平性・人権、透明性・説明責任、情報セキュリティ・安全性、人材育成など、組織としての基本姿勢を定義	統制方針・ガバナンス管理、リスク・計画管理、運用・セキュリティ統制、モニタリング・監査管理、改善・是正管理などを具体化	AIがもたらすリスク、AI利用時の注意点、生成物に関する注意点、インシデント発生時の対応フローなどについて明確化

※参照基準：「ISO 42001」、総務省・経済産業省「AI事業者ガイドライン」など。

ルールを実践へ

AIガイドライン教育

- お客様の状況に合わせたオリジナル教育コンテンツ
- 最適な形態でご提供

身近な業務を例に学び、「自分ごと」として理解することで実務に活かせる教育を支援

AI活用ハンドブック

- 作成したルールやガイドラインの要点
- 実際のAI活用場面

AI活用の具体的なイメージを持てるようにすることで、AI活用の定着を後押し

運用モニタリング

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
作成	**検討**	**回答**	**課題整理**
セルフチェックシートを作成	利用・記入・Q/A対応・集計方法などを検討	各部門にてセルフチェックシートに回答	リスク・課題を抽出し、対応方針を整理

モニタリングを通じてガバナンスの実効性を維持・向上させながらAIの活用と定着を支援

富士通の提供価値

ポリシー策定の豊富な実績

情報セキュリティポリシーなどの策定・改定支援実績をベースに、策定後の教育・監査・評価・運用までを見据えた仕組みを構築

富士通自身の社内実践知

生成AI活用の実践、ガイドライン整備、倫理・法務・セキュリティリスクへの対応、効果測定、継続改善で得た知見を、現場で使えるルールに反映

一気通貫の継続支援

AI利用状況の可視化・課題整理からガバナンスの確立、教育・定着、運用モニタリングまでを包括的に支援

既存環境との整合

既存の情報セキュリティ規程・管理体制や運用実態をふまえ、お客様が無理なく継続的に運用できる仕組みを整備

富士通の支援
豊富な実践知と専門性で伴走

AI利用のノウハウ ＋ **実践的なガイドライン設計の経験** ＋ **教育・定着に関する知見**

実務起点でのルール整備から現場への定着、運用まで一気通貫で支援

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせはコチラ

富士通株式会社　〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

© 2026 Fujitsu Limited